

ちやいお



2023/4/1

4月号

発行者/神埼エリアくみかつスタッフ

組織企画部 ☎0952-31-3977

新年度が始まり、花の色が美しくなりました！
今年度もよろしくお願ひします(^^♪

春に食べたい！
新たまねぎ



無農薬・除草剤

化学肥料不使用

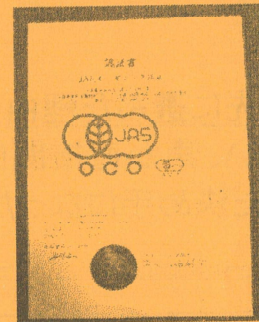
佐賀市巨勢町にある産直たまねぎの生産者^{いやはみ}弥富農園に行
ってきました。

NPO 法人「元気・勇気・活気の会(三気の会)」のメンバー
が生産されています。

『食の安全を大切に！』をモットーされていて、
JAS オーガニック認証もとられています。

毎年、更新が必要で大変だとか…。

安心・安全・美味しいたまねぎをぜひ味わってくだ
さいね～☆



JAS オーガニック認証



☆じゃがいも(キタアカリ、メークイン)の
JAS オーガニック認証もとられました。

春が旬の新たまねぎは甘くてみずみずしく辛みが少
ないのが特徴です。

生でサラダにしてもよし、

厚めの輪切りに切ってフライパンで香ばしく焼くの
もよし、スープにしてもよし♪

美味しさの輪が広がりますよ～(^^)



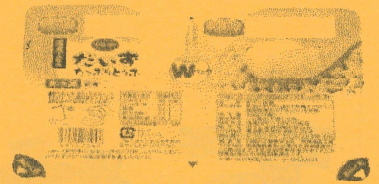
ホームページも見てね

NPO 法人 元気・勇気・活気の会 検索

アメリカの生産者と日本を繋げて

米国大豆・小麦生産者

ボブさん オンライン交流会に参加しました。



ボブさんの大豆や小麦は、アメリカのノースダコタ州やサウスダコタ州などのレッドリバーバレーと呼ばれる肥沃な大地(ミネラル等の栄養分の多い黒土が特徴)で、作付は7000エーカー(福岡ドーム3000個分)。すべて遺伝子組み換え無しか有機栽培で作られています。

今から30年前のこと

ノースダコタから単身日本へ来て取引先を探していた。



ボブさん

生協

国産大豆の不作と食用大豆生産者減少の為、海外からの調達を検討していた

運命の出会い

アメリカの農産物を日本へ届けるために活動を行っていた。

ニセイ・ファーマーズリーグとアグカルジャパン

生協を取引先に選んだ理由

消費者に会い、声が直接聞けるところが生協を選んだ決め手になったそうです。

カルフォルニア州の日系二世の農業団体

信頼できる食物を世界中に供給する

生協用の大豆は品種が決まっています。農家さん毎にロット番号が決められていて、収穫後はロット番号毎にサイロに保管されます。自社工場で穀物のクリーニングや袋詰めを行う事で、種から出荷まで全て管理されています。

農家からトラックで運ばれて来た時にサンプル採取され、GMO(遺伝子組み換え)が発見された場合、入庫が拒否され農家さんへ返却されます。

出荷前には日本生協連が品質をチェック! 厳しい管理とチェックを経て組合員さんの元へ届けられます。

安全でおいしい豆腐をたくさん食べてください(^o^)/

ボブさんの息子さんからメッセージ



ボブさんのお話を聞いて、品質のこだわり(安心安全・美味しさ)と消費者との繋がりをとても大切にされていると感じました。